



## 通常訪問研修を終えて③ 立山北部小学校

研修主題 : 学びを実感し 主体的に学び続ける子供の育成

今年度は、学習の過程において自らの学びを振り返り、自分の考えをより確かなものにしていこうとする子供の姿を目指し研修を進めています。そこで通常訪問研修では、明確なゴールの姿を想定し、授業の中で「見直しのポイント」を設けて授業改善を図った結果、次のような成果と課題が明らかになりました。

### 【明らかになったこと】

- ・「音読発表会をする」「家の人に紹介文を発表する」といった、単元のゴールを子供たちに示すことより、子供たちは音読や紹介のために、場面の様子を捉えようと、見通しをもって学習を進めることができた。
- ・体育科では、子供たちが見つけた友達の動きのよさを、録画した動画で確認することで、言葉だけでは伝わりにくい動きのよさを、実感を伴って理解することにつながった。
- ・家庭科では、単元を通した問題解決学習が仕組まれている授業を展開した。買い物の仕方を「〇〇名人」と名付け、ランキング形式でそのよさを考えることは、買い物の工夫の視点が分かりやすく、どの子供も意欲的に学習に取り組んでいた。
- ・国語科では、取り上げた子供の例文で、きっかけと提案の、どことどこが関連しているのか、色分けして示したことにより、文章構造の理解につながり、子供たちは説得力のある文章にするための視点を明確にして学習に取り組むことができた。



### 【課題】

- ・学習の中で見直しの場面があっても、どのような観点で見直すのか子供にとって曖昧にならないよう、学習のねらいや子供の実態に合わせ、何のために、何に着目して見直すのか、見直しの観点を子供が意識することができるようにしたい。
- ・見直しの後、変容した自分や友達の考えのよさを確認しないまま学習が終わっていることがある。本時、もしくは単元の中で、変容前と変容後を比較し、何がどのようによくなったのか意識化できる場を設けるようにしたい。

通常訪問研修では、様々な視点から教えていただき、私たち教員も多くの学びを実感することができました。教えていただいたこと生かし、主体的に授業改善に取り組んでいきたいと思えます。

文責 教務主任 大島 孝明

